

○「新梢長穂接ぎ」の手順



① 穂木の選び方

穂木は、伸長の止まっている枝を使い、緑枝の部分を切除して木質化した部分を使う。葉柄に葉を少し残した状態で葉を切り取る。



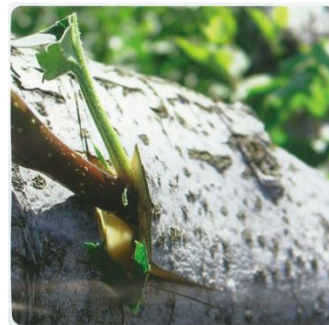
② 穂木の調製

穂木を削る際は、くさび形にし、中間台の皮部側に接する部分は長めになるように削る。



③ 切皮

中間台の接ぎ木する部分をコの字型に切皮する。皮が厚い場合はナイフ等で上皮を削いでから行くと切皮しやすい。



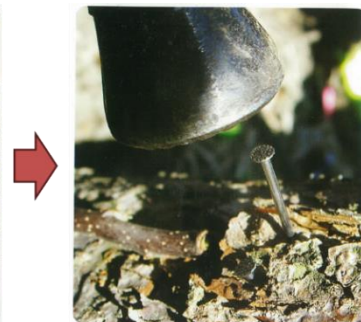
④ 穂木の挿し込み

穂木を中間台に挿し込み、コの字型の内側に穂木を固定する。



⑤ 切り口の保護

切口保護剤（カルスメイト）は、テープで縛ってから隙間を埋めるように塗る。



※ 風による枝折れが心配な場合は、接ぎ木の翌年に接ぎ木部位の真ん中に釘を打って固定する。また穂木が風で揺れないようにひもで縛って固定する。

剪定は接ぎ木した枝に本格的に花芽が着生した年から行う。